



せい しん つう しん
聖 心 通 信

札幌聖心女子学院
校長 齊藤 隆浩
第4号 2024年6月28日

〒064-8540 札幌市中央区宮の森2条16丁目10番1号
URL <https://spr-sacred-heart.ed.jp>

TEL 011-611-9231 / 011-676-7667(職員室直通)
FAX 011-612-0980

校庭の緑が鮮やかさを増し、夏の訪れを実感する日々です。2024年も半分が過ぎましたが、世界情勢は相変わらず不安定なままです。世界平和を祈りつつ、一人ひとりが今できることに精一杯取り組んでいけますように。



7月の予定



		行事	弁当
1	月		要
2	火	全校朝礼 母の会聖書サークル(10:30~Sr.新庄)	要
3	水	梅干し弁当募金③	要
4	木	高3進研模試①	要
5	金		要
6	土	父の会聖書サークル(16:00~Sr.田口)	
7	日		
8	月	漢字コンテスト①1限	要
9	火	全校朝礼	要
10	水	職員会議(15:40~)	要
11	木		要
12	金	聖ソフィア祭(14:50~21:00) ※外部公開なし(部分的に家族限定公開)	不要
13	土	父の会総会(14:00~)	
14	日		
15	月	海の日	
16	火	母の会聖書サークル(10:30~Sr.田口) 夏季体験学習結団式(16:30~)	要
17	水	全校講話②6限	要
18	木	終業日 大掃除 寄宿生帰省日 高3三者面談①	※
19	金	夏期休業(~8/21) 高3三者面談②	
20	土	高3三者面談③ オーストラリア姉妹校短期留学(~8/11)	
21	日		
22	月	高3三者面談④	
23	火	高3三者面談⑤	
24	水		
25	木		
26	金	韓国体験学習(~7/31)	
27	土		
28	日		
29	月		
30	火		
31	水		

- ☆ ※の日は、必要な方は昼食をご用意ください。
- ☆ 梅干弁当:昼食はおにぎりのみとし、おかず代分の募金をします。
- ☆ 7/12(金) 聖ソフィア祭について
 - ・今年度の聖ソフィア祭は 14:50~21:00 での実施で、外部公開はせず、部分的に家族限定で公開します(参観希望集約済)。
 - ・夕食は自分たちで調理するのでお弁当は不要です。
 - ・学校バスは登校時は 13:50 学校発(通常ルート)、下校時は 21:00 学校発(円山公園駅経由)で運行します。
- ☆ 行事予定は暫定のものです。大きな変更がある場合には、一斉メールや学校ホームページ等でお知らせいたします。

聖母戴冠式

5月30日(木)に聖母戴冠式が行われ、日頃いただいているお恵みに目を向け、感謝することができるようにお祈りしました。



梅干し弁当募金

6月12日(水)に行われた梅干し弁当募金では、**総額 14,949 円**が集まりました。今回はフィリピンの地域開発教育プロジェクト支援を行っている聖マグダレナ・ソフィア基金に寄付されます。ご協力ありがとうございました。

国際文化ミーティング
希望をもって共に歩む世界へ
~希望の作り手として~

6月19日(水)に、フィリピンで地域開発教育プロジェクトに携わっている Sr.有田をお招きして、プロジェクトの活動の様子をお話しいただきました。前半は世界各地、後半はフィリピンでの活動について具体的な現地の様子を交えてお話し下さいました。



今月の札幌聖心

今回は屋上からの景色をご覧ください



聖心(みこころ)の祝日

みこころの祝日を祝って6月13日(木)に朝礼を行い、18日(火)に記念行事として北海道札幌視覚支援学校との交流会を行いました。長年、親睦を深めてきた視覚支援学校との交流会も、残念ながら今回で最後となってしまいました。楽しく、心温まる時間を過ごすことができました。

朝礼



交流会



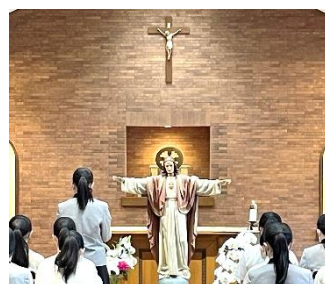
留学生 紹介

6月24日(月)にウィーン姉妹校からの留学生 Sonoka Nowonty さんをお迎えしました。ソノカさんは昨年、本校の現高校3年生がウィーン姉妹校に短期留学したときにホストファミリーとしてお世話になりました。寄宿舎に入り、7月12日(金)まで一緒に学校生活を送ります。



今月のこころのことは

「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」
(マタイによる福音28章20節後半)



この言葉はイエス・キリストが受難、十字架での死後、復活し、しばらく弟子たちと過ごしたのち、ガリラヤの山から昇天する直前に弟子たちに言われたものである。これ以後弟子たちは以前のようにイエスに出会うことはなかったが、10日後の聖霊降臨を境に、目には見えないが常にイエスが自分たちとともにいて働いていることを身近に感じ、その愛と信仰の喜びを人々に伝えていくのである。

「夏休み」という言葉が身近になってきたこの時期、色々な計画を巡らせるにはもう遅いだろうが、具体的な日課に思いを馳せ、ああではない、こうしたいと一種の夢を描く楽しい時でもあるのだろう。だが、確かにこの夏休みが今後に大きな影響を与えることは動かしがたい事実であろうから、親御さんともども、この夏休みの開始を一つの区切りとして今までになく意識しておられることだろう。娘のやり方を信じ、どのような状況になっても「本人の責任」と後ろから支えていこうと大きく構えている方もあれば、娘を助ける意図ではあってもつい余計な口を出してしまう方もあるだろう。当の娘さんたちも、自分の計画に100%自信を持っている人はなく、必死に頑張ろうとする気持ちと不安が同居する落ち着かない日々となっているのではないだろうか。

ここで冒頭の言葉を思い出してほしいのです。イエスは皆さんの心細さ、不安、心配をすべて承知のうえで、今の状況に置いているのです。あなた方一人ひとりと共にいて、あなたの力、助けになろうとしておられるのです。だからあなたがすべきことに積極的に取り組むとき、それを支え、根気よく努力する力をくださり、思わぬ成果を見ることができるのです。反対の結果にくじけそうになる時も、信頼の心を思い出し、祈りながら再度力を入れる時、必ず何か思わぬ光が射すのです。先生の適切なアドバイスだったり、友だちの優しい言葉だったり、空にかかるきれいな虹だったり、大好きなメニューだったり……………。

心の目を大きく開いて神さまがあなたといつも共にいて下さることを強く信じ、確信をもって、高校生最後の夏休みに取り組みましょう。但し、あなた側の努力を忘れずに！

[Sr.林千鶴]